

# 平成30年度 旭川歯科学院専門学校 学校自己評価結果報告書（集計）

## 1. 学校の教育目標

<教育目標>豊かな人間性を有し、歯科衛生士としての優れた技を磨き、良き社会人を目指す。  
 <基本方針>\*具体的な方策  
 1. 全ての学習活動において、謙虚さを育み、気節を鼓舞し、創造への意欲づけを図る。  
 2. 口腔衛生の普及と進展を図り、地域社会と連携し社会貢献に努める

## 2. 本年度の重点課題（目標及び計画）

1. 教育 合格率100%（国家資格） 就職率100%  
 2. 地域社会との密接な連携を保ち口腔衛生の普及に尽力し、積極的に社会貢献に努める

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

### (1) 建学の趣旨と教育の方針（教育理念・目標）

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					
・学校の建学の趣旨と教育の方針は定められているか。	4	3,7	3	2	1	
・将来的展望を踏まえて学校の将来構想を抱いているか。	4		3	2	1	
・学校の建学の趣旨・教育の方針・将来構想は学生・保護者等に周知されているか。	4		3	2,6	2	1

#### ① 課題

- ・学生や保護者個々の意識の差があり、周知には工夫・改善が必要である。
- ・教育理念と目標を基に、将来の学校構想を見据えた教職員体制の確立。

#### ②今後の改善方策

- ・HP等で「学院だより」のような情報を公開し、学生及び保護者に周知する。
- ・学院の将来像を明確にし、様々な説明機会を設定することと、学校としての質（魅力）の向上が急務。

#### ③特記事項

- ・母体である「歯科医師会」との密接な連携が必須。

### (2) 学校経営方針（学校運営）

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					
・教育理念・目標に沿った学校経営方針が策定されているか。	4	3,1,3		2	1	
・学校経営方針に基づき、組織は有機的に機能しているか。	4		3	2,6	2	1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4		3		2	1
・地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか。	4		3	2,8	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4		3,2,9		2	1

#### ①課題

- ・教育現場と運営サイドの情報の共有化と連携強化の改善が必要である。
- ・学校経営に関しては、より現実的な改善と対策が必要で、教職員の協働連携も改善の余地がある。

#### ②今後の改善方策

- ・教職員の意識改革の具体的方策と、意見交換による教職員の情報共有化の取組みを実践する。
- ・歯科医師会、センター、学院での協調と新しい視点で考える組織等を構築する。

#### ③特記事項

- ・特になし

## (3) 教育活動 (各学年指導計画)

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					
・教育理念・目標に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	3,3	3	2	1	
・カリキュラム (実習等を含む) は体系的に編成され学習時間の確保は明確化されているか。	4	3,4	3	2	1	
・成績評価・単位認定・進級・卒業の基準は明確化されているか。	4	3,5	3	2	1	
・教育の方針 (人材育成) 達成に向けた授業担当教員を確保しているか。	4		3	2,5	2	1
・教員の先端知識・技能等の習得及び指導力育成などの資質向上のための取り組みは行われているか。	4		3	2,8	2	1

## ①課題

- ・教育内容充実のために、将来を見据える若手教員の確保や人材育成の方策が明確でない。
- ・授業担当教員の確保と歯科衛生士教育に適した人材の確保。

## ②今後の改善方策

- ・教育はマンパワーが必要であり、本校の適した人材・優秀な教員の確保には長期的な視野で取り組む。
- ・新人教職員のスキルアップのための外部教育機関の研修会等の積極的な参加。
- ・インシデント対応教育や感染症に対する考え方等の具体的事項を改めて検証し、教育活動にいたす。

## ③特記事項

- ・毎年、専任教員講習会に参加し勉強になっている。

## (4) 学修成果

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					
・就職率の向上が図られているか。	4	3,5	3	2	1	
・国家試験合格率の向上が図られているか。	4		3,1,3	2	1	
・退学率の低減が図られているか。	4		3	2,7	2	1
・卒業後の生徒のフォローアップがなされているか。	4		3	2,8	2	1

## ①課題

- ・本校卒業生に対するフォローアップのための学院としての連携システムが必要である。
- ・国試対策も含め学業習得をより精度を高めるために、親の理解と多様な生徒の多様な取り組みの実践。

## ②今後の改善方策

- ・平成28年度から卒業後勉強会を定期的実施している。歯科医師会とも協同して研修のプログラム等を充実させる。
- ・学院教務として卒業後の動向等、情報の共有化を図る。

## ③特記事項

- ・特になし

## (5) 学生支援

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3,7	3	2	1	
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3,5	3	2	1	
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	3,5	3	2	1	
・学生の健康管理を担う体制はある。	4		3,1,3	2	1	
・学生への生活環境への支援は行われているか。	4		3	2,9	2	1
・保護者と適切に連携しているか。	4		3,2	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか。	4		3	2,6	2	1

①課題

- ・経済的な支援体制は徐々に整備され可及的に協力・支援しているが、それでも経済的理由等で途中退学せざるを得ない生徒がいるが、限界がある。
- ・就職した卒業生に対する再就職の支援体制の整備が必要であるが、どの程度介入できるか検討が必要。

②今後の改善方策

- ・卒後勉強会（研修）を軌道にのせ、卒後の再就職等の組織的支援体制（相談窓口等）を構築する。
- ・保護者への積極的な連携を図る必要があり、生活環境・経済的問題等の把握を学校全体で実施する。

③特記事項

- ・学生が過ごし易い環境づくりを更に推進していく。

(6) 教育環境

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	4	3.1	3	2	1
・学内外の実施施設等について十分な教育体制を整備しているか。	4	3.1	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか。	4	3.6	3	2	1

①課題

- ・学生が進んで学べる授業体制づくり。
- ・実習先の指導の差違や時代にそった実習（臨地実習）を見直しする必要ある。

②今後の改善方策

- ・最新機器の導入とタブレット等を利用したアクティブラーニングの導入を検討する。
- ・実習先歯科医院での実習指導内容の統一性が必要で、今まで以上の連携が必要である。

③特記事項

- ・歯科衛生士という職業のPR。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				
・学生募集活動は適性に行われているか。	4	3.7	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3.4	3	2	1
・学費等納入金は妥当なものとなっているか。	4	3.5	3	2	1

①課題

- ・高校教員へ「歯科衛生士」という職業の認知と魅力を知ってもらうために専任教員の啓蒙活動の強化。
- ・学生募集に関しては、常に工夫されているが募集地域の見直しが必要ではないか。

②今後の改善方策

- ・高校訪問や啓蒙活動のさらなる充実と魅力的な教育プランの作成と実績を上げ、学生の確保のための継続した学生募集に尽力する必要がある。
- ・旭川歯科医師会の範囲である旭川市近郊と道北を重点的に取り組む。

③特記事項

- ・歯科衛生士という職業のPR。

(8) 財務

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				
・中期的に学校の財政基盤は安定しているか。	4	3	2.6	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	3	3	2	1
・財務について会計監査が適性に行われているか。	4	3.3	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3.1	3	2	1

①課題

・学生数減少という厳しい現状で財政状況は厳しい方向ではあるが、様々な要素を把握しておくべきである。

②今後の改善方策

・学生確保のため、様々な方策を取りながら入学促進に力を入れる。

③特記事項

・特になし

(9) 地域社会貢献

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				
・臨地実習等を通して生徒・教員による地域社会貢献を行っているか。	4	3,3	3	2	1

①課題

・広く市民への「歯科衛生士」という職業の認知がなされていない。

②今後の改善方策

・歯科学院専門学校の認知度を高める方法を模索(旭川市街地でのデモンストレーション等)すると同時に、地域(区域)住民や企業との連携を図る。

・実習先との更なる連携強化とカリキュラムの見直しで臨地実習の拡充等を検討する。

③特記事項

・特になし

(10) 法令等の遵守

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運用がなされているか。	4	3,5	3	2	1
・個人情報に関して、その保護のための対策がとられている。	4	3,3	3	2	1
・学校自己評価の実施と問題点の改善を図っている。	4	3,3	3	2	1
・学校自己評価結果を公開している。	4	3,6	3	2	1

①課題

・学校外部評価の実施して、定期的な見直しと学校改善に役立てる必要がある。

②今後の改善方策

・パソコン管理のさらなる徹底を図る。特に、個人情報の管理を徹底する。

・教育現場における行き過ぎた指導やハラスメントについて教職員間で意識し、研修を推進していく。

③特記事項

・特になし